



クラブ 会報

CLUB BULLETIN (WEEKLY)

鶴岡ロータリークラブ

TSURUOKA ROTARY CLUB

D-253

創立 S 34. 6. 9

承認 S 34. 6. 27

例会場	鶴岡市馬場町	物産館3階ホール
例会日	毎週火曜日	12:30~13:30
事務所	鶴岡市馬場町	商工会議所内
		電話 0235 7711

会長	嶺 岸 光 吉
幹事	佐藤 徳 衛
会報委員長	川村 繁 男
	小池 正 治
	西海 一 昇
	佐藤 藤

No., 1103

1981. 4. 14 (火) (晴)

No.41

ヒンター紹介

アルバート平山君	大学・法律	—	西ドイツ・ブルッサル R.C
滝 禅源君	仏 教	—	立川 R.C
金子勝美君	私学教育	—	余目 R.C
渡部晃雄君	仏 教	佐々木 暢美君	観光事業—温海 R.C
半田茂弥君	石油販売	佐藤 拡君	小児科医
松田善三郎君	製 麵	佐藤 成生君	金物配布
三浦正志君	自動車車検	内田 智誉雄君	相互銀行

} 鶴岡西 R.C

◆ ゲスト紹介

余目高校教諭 木村 喜代志氏
交換学生 ジェームス君

TAKE TIME TO SERVE

時間を捧げよう 奉仕のために

◆ 新入会員紹介

◎ ^{ワタ} ^{ナベ} ^{トン} ^オ 渡部利夫君

生年月日 S.3.9.3 (52才)
住 所 鶴岡市家中新町18-20
勤 務 山形銀行鶴岡支店
趣 味 ゴルフ、野球観戦
家 族 奥様 てい子 (S.7.6.7生)
長女 智 子 (S.31.4.5生、家事見習)
二女 和 枝 (S.37.9.4生、学生)
長男 利 彦 (S.32.10.15生、学生)

◎ ^{ナカ} ^エ ^{テツ} ^オ 中江哲夫君

生年月日 S.9.10.7 (46才)
住 所 鶴岡市大字日枝字海老島276-8
勤 務 日本生命保険相互会社庄内地方部長
趣 味 ゴルフ
家 族 奥様 さち子 (S.11.9.16生)

会 長 報 告

嶺岸光吉君

◎鶴ヶ岡城の鳥瞰図完成し鶴岡市に寄贈致しました。

◎第5回クラブ協議会

第一イン・ツルオカ 4時30分より 4月～6月までの計画の再確認

◎遊佐ロータリークラブ

前庄内分区代理五十嵐正覚氏 4月7日午前1時30分なくなられました。65才、告別式の日取りは追って通知あると思います。

◎第2回R.Y.L.A研修会

日 時 5月3日、4日、5日

出席者 高専 佐藤正春君 3年、鶴工 五十嵐清夫君 3年、
ジェームス君、菅原辰吉君

開催地 山形市蔵王温泉体育館

幹事報告

佐藤 衛 君

- ① 国際ロータリー日本支局が明日4月15日、東京都新宿区四谷3丁目11番地山一ビル2階になります。TEL 03-355-5391
尚、従来の文献東京事務所の資料室と翻訳室も新たに支局の内に置かれることになりました。
- ② 米山奨学生エテバリー君よりのお便り。

委員会報告

◎親睦活動委員会

皆川英二君

本年度最後の親睦会を5月17日最上川芭蕉ライン舟下り家族会で行なう。多数参加下さい。

◆交換学生親睦旅行会報告

ジェームス君

20人の交換学生と一緒に中国・四国地方を旅行しました。広島で原爆博物館と宮嶋を見ました、次の日、松山に行きました。四国では暖く、桜も咲き始めていました。姫路にも行ってきました。長い石段を上り、頂上には寺がありましたが、姫路の街と瀬戸内海が眺められ、すばらしい景色でした。姫路城は木造で、土台と廻りの塀は石でした。おばあさん達のグループが掃除をしていましたが、それはお金の為ではなくボランティアでした。最後に行ったのは日光です。江戸時代に建てられたお寺を見ましたが、とても敷地が広くて、色や飾りが立派で驚きました。華厳の滝は迫力があって印象的でした。皆様のお蔭でほんとうにすばらしい旅行をしました。

◆ゲストスピーチ

地図から見たパレスチナ問題

余目高校教諭 本村喜代志氏

昨年夏、ヨルダン・シリア・トルコの旅を通して感じ、考えさせられたことの一つに、「パレスチナ問題」があります。ヨルダン川西岸に近づいた時のきなくささや、ハマ(Hama—シリア：ダマスカス北方210km)でのコマンドと

の語らい、アンマン郊外で見たパレスチナ難民キャンプ等から、あらためてこの問題というものを考えてしまいました。そして中東を考える時、このパレスチナ問題を避けて通ることは不可能であることを強く感じてきました。また、私達日本人は、同じアジアの出来事であるこの問題を考える時、ヨーロッパ・N.S寄りの情報に片寄りすぎてはいないだろうかという疑問も合わせて感じたことです。それで、ヨルダン・シリアで手に入れた地図を中心にして、イスラエルをめぐる両国の立ち場について述べてみたいと思います。

ヨルダンの地図とシリアの地図は、イスラエル及びヨルダン川西岸（第3次中東戦争でイスラエル占領）の取り扱いに大きな違いがみられます。即ち、ヨルダンの地図によると、日本の地図でイスラエルとなっている地域に国名の記入がありません。空白です。ヨルダン川西岸は自論ヨルダン領になっています。一方、シリアのものは、イスラエルという国名ではなく、パレスチナとなっています。イスラエルという国を全く認めていないのです。そして、ヨルダン川西岸は、パレスチナ領でヨルダン領にはなっておりません。

これら地図上の違いは、それぞれの国の立ち場をはっきり示しているものとして興味をもったところです。それで、この両国の立ち場を少しほり下げながら、日本の地図・中東観を考えてみたいと思います。

ヨルダンの正式国名は、ヨルダン・ハースム王国で、「ハースム家のヨルダン王国」ということになります。ご承知の通り、イギリスのあとおしによってつくられた国です。従って、中東（アラブ諸国）のなかでは、保守・穏健派としてイギリス・U.Sとの結びつきの強い国です。そして政府を支えているのは、沙漠の民（ベドウィン系）の兵士達であるため、イスラエルに対しても宥和的です。そのあらわれの一つに、イスラエル入国を示すパスポートでは、アラブ諸国への入国は認められません。しかし、ヨルダンからはパスポートを汚さずにイスラエル入出国が可能です。

ところが、ヨルダンの人口の3分の1は、イスラエル成立に伴うパレスチナ人で、イスラエルには燃えるような敵意をもっている人達です。この国内を二分する勢力の対立が内戦にまで発展したのが1970年9月です。王政府によるヨルダン内のパレスチナ・コマンド（シリアから支援をうけていた）の弾圧です。その結果アラブ諸国から孤立してしまい苦しい立ち場を余儀なくされた国です。また、ヨルダンは、40年間の努力のいかにもなく一滴の石油も出ない国です。ましてや、国内で最も豊かなヨルダン川西岸を失った今日では、諸外国の援助なしでは一日たりとも存続出来ない国です。即ち、ヨルダン川西岸は、国土面積の7%にすぎないけれど、商工業機能の50%、観光収入の90%、外貨送金の80%、食糧供給源の65%を占めている地域なのです。それで、1974年10月、ヨルダン川西岸にパレスチナ解放機構（PLO）が主権を行使して、国家建設をす

ることを認め、将来「ヨルダン・パレスチナ連邦」構想を打ち出し、アラブ諸国との関係改善をはかっています。その結果、予算財源の50%強を、アラブ産油国の援助でまかない、かろうじて存続している国です。

イギリス・U.S友好国として、いたずらにイスラエルを刺激するわけにもいかず、アラブ諸国（特に産油国）にも顔を立てなければならない苦しい立場の国なのです。

一方、シリアは、アルジェリア・リビアと共にアラブ強硬派として知られている国です。それだけに、イスラエル成立のうしろだてとなったイギリス・U.Sと友好関係のヨルダンとは不仲の間柄です。それに加えて、1970年9月のヨルダン政府による国内パレスチナ・コマンド弾圧（暗黒の9月）や、今日、シリア国内の反政府勢力である「モスLEM同志会」の援助等もあり、1980年12月上旬にみられたように一発即発状態の険悪な間柄です。

以上のことから、ヨルダン・シリアの地図もご理解いただけるのではないかと思います。

ところで、日本の地図ですが、どの地図を見てもイスラエルと明記されています。ヨルダン川西岸はヨルダン領となっているのが大部分です。イスラエルと明記されていること自体、ヨーロッパ・U.S寄りの目で中東を見ていることになると思います。これの良し悪しはさておき、日本のマスコミでよく目にする「アラブ・ゲリラ」とか「パレスチナ・ゲリラ」は、コマンドの訳語としても使われているようです。ところが、ヨルダン・シリアでは、コマンドを決してゲリラの意味には用いないことを知りました。当然、アラブ・ゲリラとかパレスチナ・ゲリラともいわないようです。パレスチナ建国をねらい闘う人達を「コマンド」という言葉で総称しています。コマンドとは、第一次大戦中イギリスで生まれた義勇特別攻撃隊の意味です。ゲリラという意味は含まれていない言葉です。また、アラブというとイスラム教、イスラム教といえば「右手に剣、左手にコーラン」といったように、二者択一を迫る、好戦的なアラブ人のイメージをもちます。この言葉にしても、イスラム教徒と聖地争いの歴史をくり返してまたキリスト教徒によってつくられた反イスラム・キャンペーンの一つであることを知る時、あまりにもヨーロッパ寄りの目でこれまで中東を考えてきたといえるのではないのだろうか。

そんな状況下でも、日本の経済進出は目を見張るものがありました。もはや、オイル・ショック以前のヨーロッパ・U.S側だけからの中東観では不十分といわざるを得ません。アジアの同胞として、日本独自の中東観確立を通して、日本・中東の相互理解の急務を痛感した次第です。

SMILE BOX

- ◎佐藤友吉君 4月9日 長男・友和さんご結婚（於 第一イン・鶴岡）
 ◎藤川享胤君 4月10日 長女・昌子ちゃん誕生（於 三井病院）

出席報告

本日の出席	会員数	72名	欠席者	阿部(与)君、早坂(源)君、早坂(徳)君、飯白君、板垣(広)君、三浦君、中野君、斎藤(利)君、佐藤(昇)君、高橋(良)君、玉城君
	出席数	61名		
	出席率	84.72%		
前回の出席	前回出席率	80.00%	ミークアップ	飯白君、小松君、佐藤(友)君、新穂君、鈴木(善)君、玉城君一鶴岡西R.C 秋野君、阿蘇君、佐藤(陸)君、板垣(広)君 一R.A.C 笹原君一仙台R.C
	修正出席数	76名		
	確定出席率	95.71%		